

# 令和5年度第2回大和市消防運営審議会議事録

日時：令和6年2月21日（水）

午後2時00分から

場所：消防本部3階第1会議室

○出席委員 高橋（忠）会長、井上職務代理、小菅委員、北砂委員、  
高橋（誠）委員、森園委員、小泉委員、友野委員、木村委員（計9名）

## 1. 開会

## 2. 会長あいさつ

## 3. 消防長あいさつ

## 4. 議題

### （1）消防本部各課の主要事業の報告

- ① 消防総務課
- ② 警防課
- ③ 救急救命課
- ④ 予防課
- ⑤ 指令課
- ⑥ 消防署管理課

※各所管課長より説明

質疑等

委員：資料に当初予算額の記載がありますが、この金額に対する実績はどのようになっていますか。

消防総務課長：令和5年度の事業が終了して、決算額がすべて確定したら、説明できるものとなります。

委員：女性消防吏員のパーセンテージに関して、令和8年度までに引き上げるということですが、緊急時には女性目線での救助の必要性を感じますので、女性消防吏員の増加に取り組んでいくことを願います。

委員：応急手当講習にWEB講習を取り入れたとありましたが、どのくらいの効果がありましたか。

救急救命課長：総務省が実施するWEB講習は2時間の内容であり、市が実施する講習は3

時間の内容です。全部で修了証は818回発行していますが、そのうち259回がWEB講習によるものであり、全体の32%を占めています。

委員：やまとAED救急ステーションに関して、24時間営業のコンビニエンスストアと異なり、郵便局は日中のみの営業であるため、市民がいつでも使用できるという観点では不足しているように感じます。

救急救命課長：通報件数等からの実績として、夜間の通報は日中と比較して少なくなります。そのため市として、日中で使用できるところで市民の皆様に活用をしていただきたいと考えています。

委員：小・中学校での応急手当講習ですが、実施する学校はどのように選定していますか。

救急救命課長：学校に対しては年度当初の校長会にて説明をしています。そのうえで希望があった学校を訪問しているものですので、消防本部で選定しているのではなく、学校側の希望により開催をしています。

委員：今年の出初式において、少年消防団の活動は役割分担がしっかりとできており、素晴らしいと感じました。宿泊研修は子どもにとってよい経験になることを感じましたが、誰でも体験できるものでしょうか。

予防課長：少年消防団は小学校4～6年生と中学生を対象としており、避難生活施設運営訓練では4、5年生は夕飯までの訓練とその後は引き取り訓練とし、6年生以上は宿泊を体験しました。段ボールベッドは全員分を揃えることはできませんでしたが、ポールを組み立てて、個室のような空間を作る工夫を図ったり、医務室用の段ボールベッドを皆で組み立てるなどの体験をしました。日頃の備えから実践的な訓練として宿泊訓練を実施しました。通常の活動は毎月行っております。

委員：火災予防広報について、広報車などで市内を巡回していただけると、効果があると感じます。

予防課長：火災予防運動期間中などは、市の消防団にも協力をいただき、市内の巡回をしています。ただし、夜間は音の問題もあるので、控えています。

委員：立入検査とは具体的に何をしているのでしょうか。

予防課長：消防設備が適切に維持・管理されているかをチェックしています。例えば、消火器が破損していないか、防火に関する責任者である防火管理者がしっかりと選任されているか、年に2回義務付けられている消防訓練が実施されているか、などを確認しています。

委員：テレビなどで消防隊員の対応を見ていると、常に冷静な対応を行っている印象を受けます。相当なストレスがかかる任務であると感じますので、隊員のメンタル面への対応も気にかけていただきたいと感じます。

委員：通信指令装置の維持や管理に関して、費用はかなりかかるものと感じますが、いかがでしょうか。

指令課長：四市の共同運用の開始に向けて準備を進めていますが、共同運用が開始されると、費用が按分されますので、費用面でのメリットも見いだせるものと考えています。

- 委員：119番着信件数のうち、いたずら・間違いによるものはどのように対応しているのでしょうか。また、携帯からの通報はどのように位置を特定しているのでしょうか。
- 指令課長：いたずら・間違いは子どもが誤って発信したものや、ポケットの中にある携帯電話から誤って動作したものがほとんどです。携帯電話からの通報は500mくらいの場所の誤差が出ます。通報者が付近の目標になる建物などを示していただくことで、最終的に通報位置を特定しています。
- 委員：スタンドパイプ消火資機材ですが、自分の自治会内には4台あります。今後の増台予定はどのようになっていますか。
- 管理課長：昔は市内には街頭消火器が設置されていましたが、その維持には多大な経費がかかっていました。初期消火につながる資機材は備えられてきたものと考えておりますので、現在あるスタンドパイプ消火資機材を適切に管理し、その維持に努めていくとともに、スタンドパイプ消火資機材の担い手の育成にも力を注いでいくことを考えています。

## (2) 令和5年(1月～12月)の災害概要(速報値)

※管理課長より説明

質疑等

- 委員：火災出動の内訳にあるその他の火災とは何でしょうか。
- 管理課長：公園での火遊びによるもの、などが挙げられます。

## 5. その他

### (1) 石川県能登半島地震に伴う緊急消防援助隊の派遣について

※警防課長より説明

質疑等

- 委員：隊員の皆さんが大変な活動をされていたことを知りました、市民に知ってもらう機会があったらよいと思いました。
- 警防課長：広報やまともや市ホームページにて公開させていただきましたが、市民の皆様には何よりも「防災への意識を高めていただく」ことが大切であると考えています。

## 6. 閉会